



TEN-TEN

テンテン

取扱説明書 (保証書付き)

もくじ

- 安全にお使いいただくために … P.2
- セット内容・各部名称 …… P.3
- 設営方法 …… P.4～11
- 撤収方法 …… P.12～13

- Q & A ～より快適に使用して
いただくために～ …… P.14
- 製品仕様 …… P.14
- 保証書 …… P.15



アウトドアマン インスタグラム

https://www.instagram.com/outdoor_man_p



ライソン株式会社 お客様サービスセンター
〒577-0034 大阪府東大阪市御厨南2-1-33

06-6789-1199 月～金(祝日のぞく)10～16時

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。この取扱説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に必ずお読みください

この説明書には、ご使用になる方やその周辺にいる方々や物への危害や損害を未然に防ぐためのお守りいただきたい事項を記載しています。製品を安全にご使用いただくために内容を十分にご理解いただきますようお願いいたします。

警告

この表示は、内容を見逃し間違った取り扱いをすると、死亡や重症を負う危険性の高い内容を示しています。

- 子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところに置かないでください。
※組み立てる前のインナーテントやフライシートを被ったり等して、窒息やケガを負う可能性があります。
- テント内やテント近くでは、絶対に火気を使用しないでください。一酸化炭素中毒等の生命をおびやかす恐れがあります。
- 台風や、落雷の時には、キャンプ場の管理担当者の指示に従い、安全な場所に避難してください。

注意

この表示は、内容を見逃しすると対人的に障害を負ったり、対物的に損害の発生が想定される内容を示しています。

- キャンプ場へ出かける前に、全ての部品が揃っているか確認してください。
- 設営・撤収の際に、本製品に対して無理な力を加えないでください。
- 2人以上で設営してください。無理な設営はポールの破損や本体破れの原因となります。
- 設営・撤収の際に、手を挟まないように十分に注意してください。
- テントを立ち上げる際はポールの跳ね返りに注意してください。
- 小さなお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- ゴツゴツした岩の上や鋭利なものに触れる場所に設置しないでください。周りの環境をよく確認の上、使用してください。
- 確実に設営ができていることを確認してから使用してください。
- 不安定な場所や状態で使用しないでください。
- 使用の際は必ずペグで固定してください。砂地や雪上では状況に応じたペグ等が別途必要となります。
- 高温多湿、火のものと近くで使用しないでください。
- ランタンハンガーに重いものをかけないでください。破れる可能性があります。
- キャンプ場やキャンプ許可地以外では使用しないでください。
- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納・保管してください。雨等で撤収時に十分に乾かせなかった場合は、持ち帰ってからできるだけ早く乾燥させてください。濡れたままの状態での収納すると、カビ発生や色移りの原因となります。
- 本フライシートは紫外線カットおよび防水処理を施していますが、使用を重ねると徐々に機能が低下していきます。
- 幼児、小さなお子様の手が届かない場所で保管してください。

※誤った使用方法で発生するすべての事柄に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

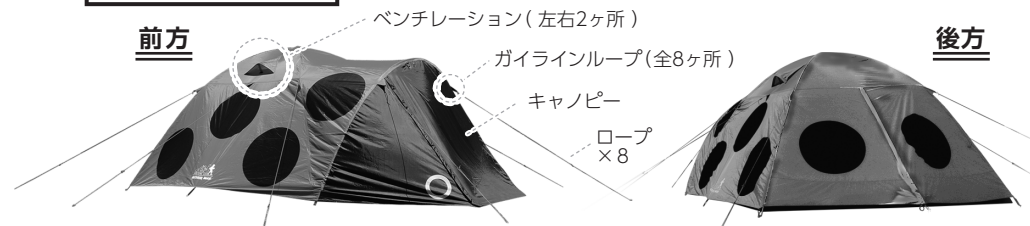
セット内容・各部名称



インナーテント組み立て時



フライシート装着時



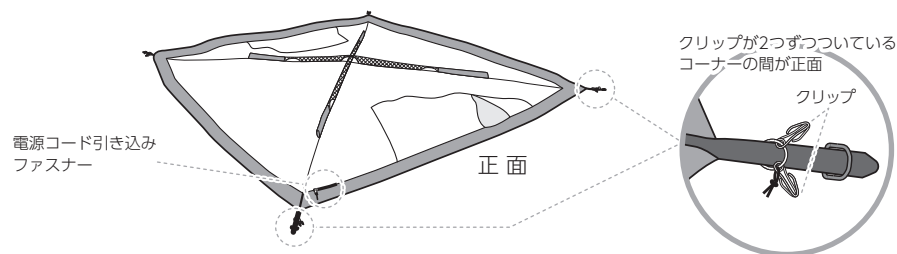
設営方法

- ❗ ・設営は2人以上でおこなってください。無理な設営はポールの破損や本体破れの原因となります。

1. インナーテントの組み立て

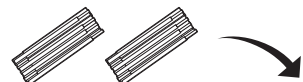
① インナーテントを広げる

インナーテントを広げてください。電源コード引き込みファスナーのある側、もしくはクリップが2つずつついているコーナーの間のドア側がインナーテントの正面になります。広げたあと、空気が入りやすいよう前後のドアを一部開けておきます。



② メインポール(銀色)を組み立てる

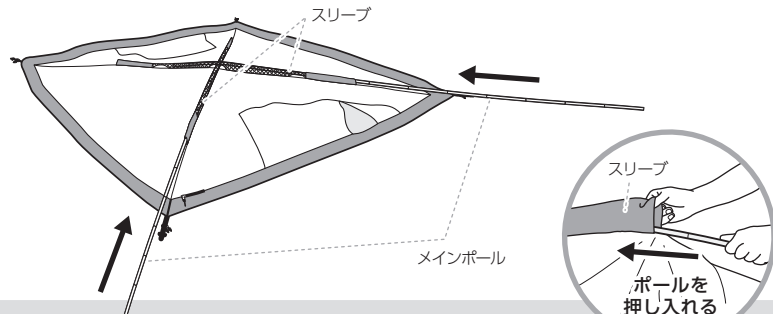
2本のメインポールを組み立てて、伸ばしてください。



- ❗ ・ポールを伸ばす際は、各節を完全に差し込んでください。しっかりと差し込まれていないとポールが折れる可能性があります。

③ メインポール(銀色)をスリーブに通す

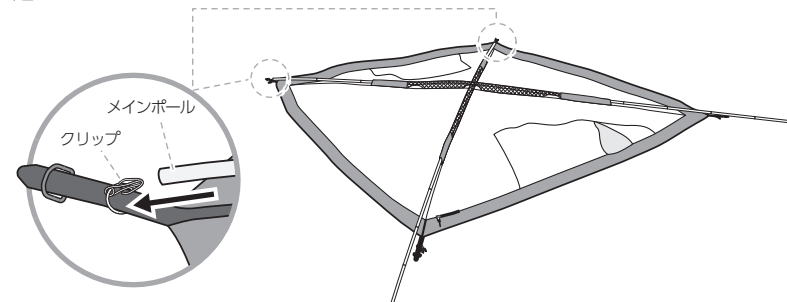
2本のメインポールを、インナーテントのスリーブに通してください。



- ❗ ・スリーブに通す際は、ポールは引っ張らずに押し入れてください。ポールを引っ張ると各節の差し込みがゆるんだり、外れる可能性があります。

④ メインポールを背面側のクリップに差し込む

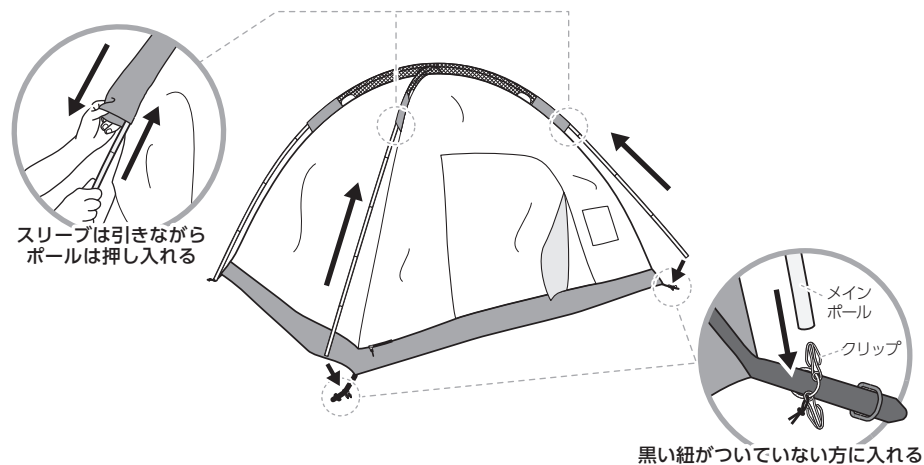
2本のメインポールのそれぞれ片側を、インナーテント背面側のコーナーにあるクリップに差し込みます。



- ❗ ・ポールをクリップに差し込む際は、指を挟まないようご注意ください。

⑤ インナーテントを立ち上げる

正面側のスリーブの端を持って、2本のメインポールをそれぞれ押し入れながらインナーテントを立ち上げます。立ち上がった後正面側のコーナーにあるクリップ(黒い紐がついていない方)にそれぞれ差し込みます。

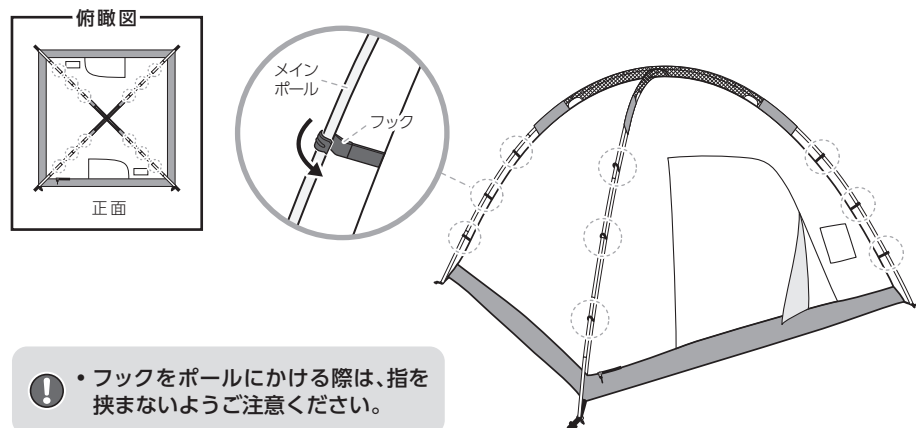


- ❗ ・2本のメインポールを2人で同時に押し入れながら徐々に立ち上げてください。
- ❗ ・立ち上げる際は、片手でスリーブを持って引きながら、もう片方の手でポールをゆっくり押し入れてください。スリーブを持たずに押し入れると生地が破れたり、ポールが折れる可能性があります。
- ❗ ・ポールをクリップに差し込む際は、指を挟まないようご注意ください。

設営方法 (つづき①)

⑥フックをメインポールにかける

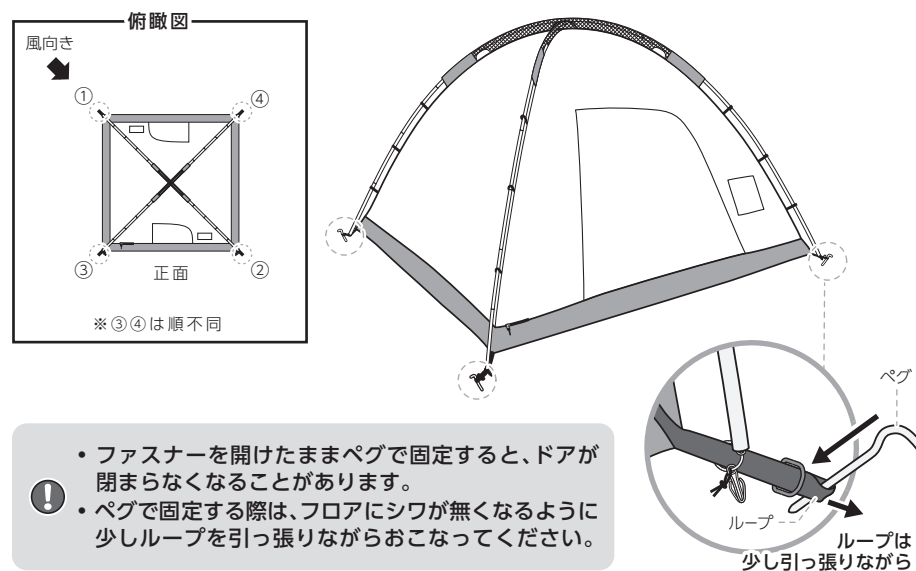
インナーテントについているフックをメインポールにかけて固定します。(全12ヶ所)



⑦インナーテントを固定

前後のドアのファスナーを全て閉めてください。

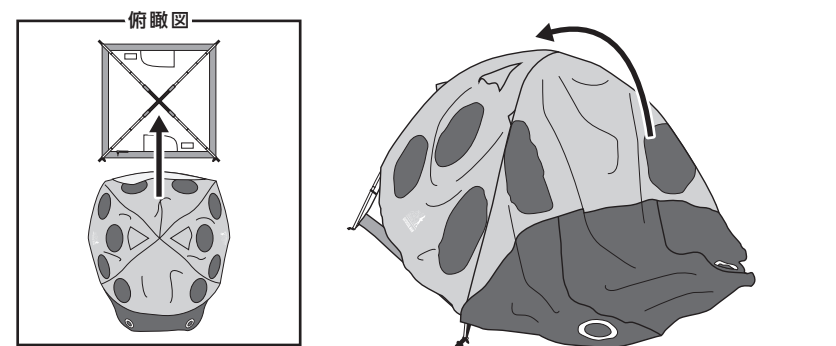
設営位置を決めて、4ヶ所のループに、風上→その対角線(下図①～④)という順にペグを打ち込んで固定してください。



2. フライシートの設置

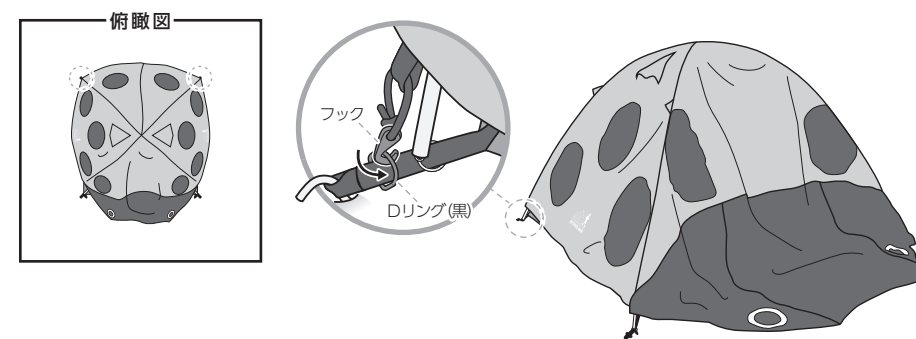
①フライシートをかぶせる

フライシートを広げて2人で両側面を持ち、下図のようにフライシートの後側からインナーテントの正面に向かってかぶせていきます。



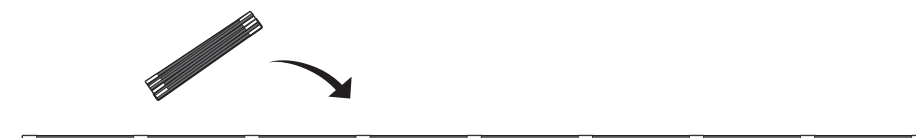
②フライシートの後側を固定

フライシートをかぶせ終わったら、後側の両端のフックを、インナーテントのコーナーについているDリング(黒)にそれぞれかけます。



③フロントポールを組み立てる

フロントポールを組み立てて、伸ばしてください。

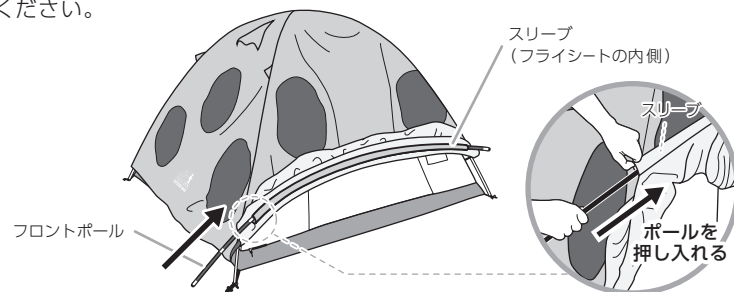


ポールを伸ばす際は、各節を完全に差し込んでください。
しっかりと差し込まれていないとポールが折れる可能性があります。

設営方法 (つづき②)

③ フロントポールをスリーブに通す

フライシート内側のキャノピー部分との境目にあるスリーブに、フロントポールを通します。スリーブが見えるまでフライシートのキャノピー部分(前方)を外側に向けて巻き上げてからおこなってください。

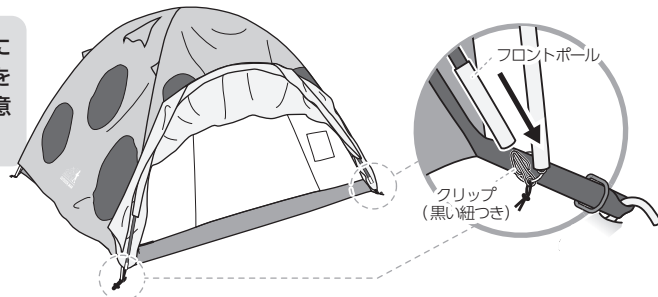


- ポールをスリーブに通す際は、引っ張らず押し入れてください。引っ張るとポールの各節の差し込みがゆるんだり、外れる可能性があります。
- ❗ • 押し入れの際に、ポールの先端がスリーブに引っかかることがあります。引っかった生地をほぐしながらおこなってください。引っかったまま無理に押し込むと、生地が破れる原因になります。

④ フロントポールをクリップに差し込む

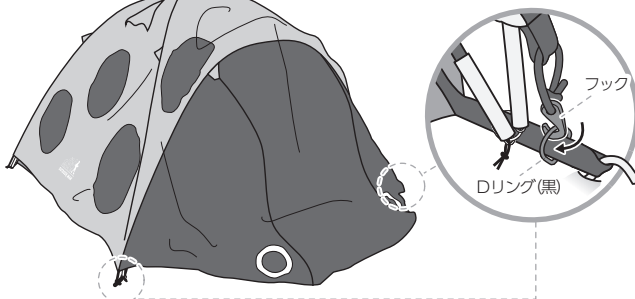
スリーブにフロントポールを通し終えたら、フロントポールを湾曲させながらそれぞれの端をインナーテントのコーナーにあるクリップ(黒い紐つき)に差し込みます。

- ❗ • ポールをクリップに差し込む際は、指を挟まないようご注意ください。



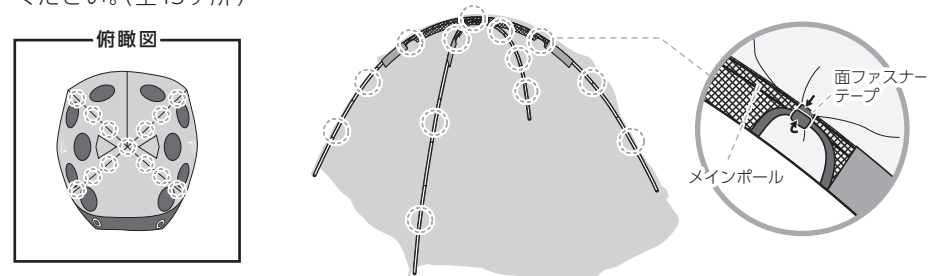
⑤ フライシートの 前側を固定

フロントポールをクリップに差し込み終えたら、そのクリップのすぐ横についているDリング(黒)にフライシートの前側のフックをそれぞれかけます。



⑥ フライシートとインナーテントを固定

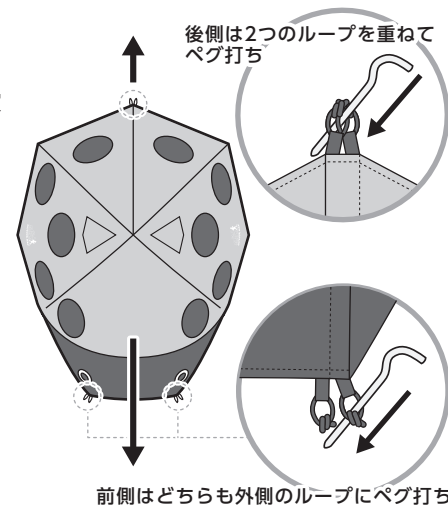
フライシート内側にある面ファスナーテープを、それぞれメインポールにとめて固定してください。(全13ヶ所)



⑦ フライシートの前側・後側を張り出す

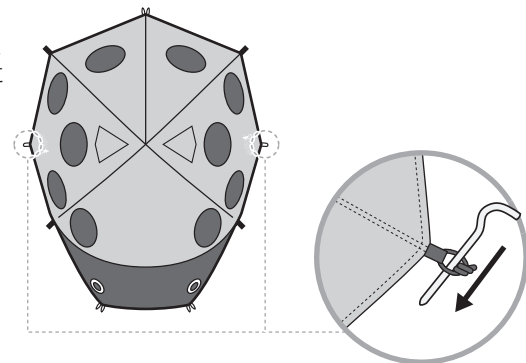
前後のファスナーを全て閉めてください。フライシートの前後を張り出して、ペグで固定してください。

- ファスナーを開けたままペグで固定すると、出入口が閉まらなくなることがあります。
- キャンピーを使用する場合、前側はどちらも外側のループにペグを打ってください。
- ループを引っ張りすぎないようにご注意ください。ファスナーに負担がかかり、フライシートが破損する原因になります。



⑧ フライシートの側面を張り出す

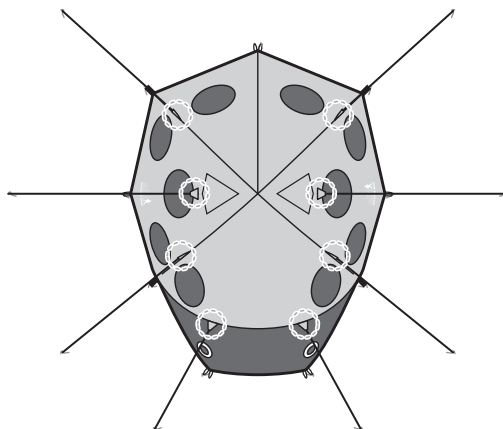
両側面のループを外側に引っ張って、インナーテントから十分に離れた場所にペグで固定してください。外気の取入口となります。



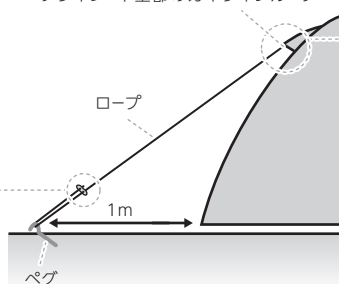
3. ロープを張って固定

下図のようにフライシート上部の各ガイラインループ(全8ヶ所)に付属のロープを結んで、ペグで固定してください。
テントの安定性を高めて、インナーテントとフライシートの接触を防ぐことができます。

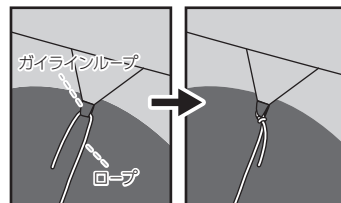
- ❗ 大きなサイズのテントは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。必ずロープを張って固定してください。



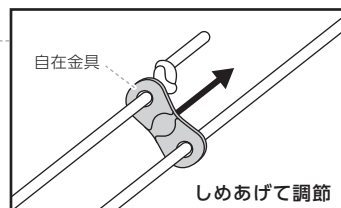
フライシート上部のガイラインループ



ロープの端をガイラインループに結びます。

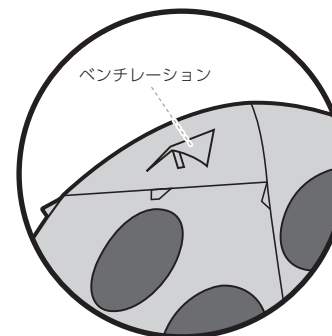


本体から約1m離れた位置にペグを打ちます。ロープをかけて自在金具をしめあげ、ロープの長さを調節してください。

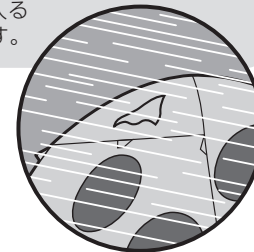


4. ベンチレーションについて

ベンチレーションを開けておくと、テント内の空気を循環させて快適にしてくれます。
また、外気との温度差を縮め、防水加工が施されている本テント内の結露を防止・軽減させることにも役立ちます。

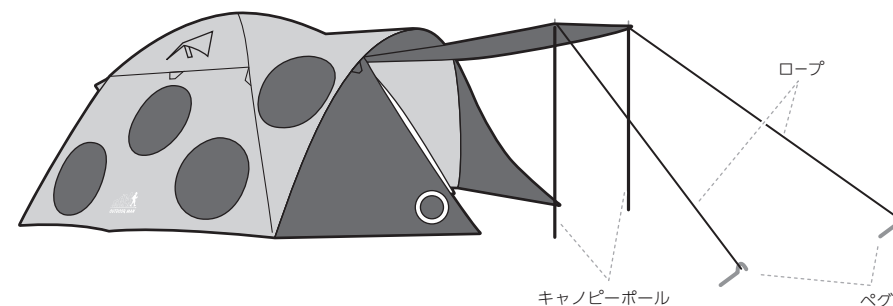


- ❗ 横殴りの強い雨の時は、ベンチレーションを閉じることをお勧めいたします。テント内に雨が入る可能性があります。



5. キャノピーポールの活用

前室をキャノピーとして使用する場合、下図のように付属のキャノピーポール・ロープ・ペグを使って設営します。



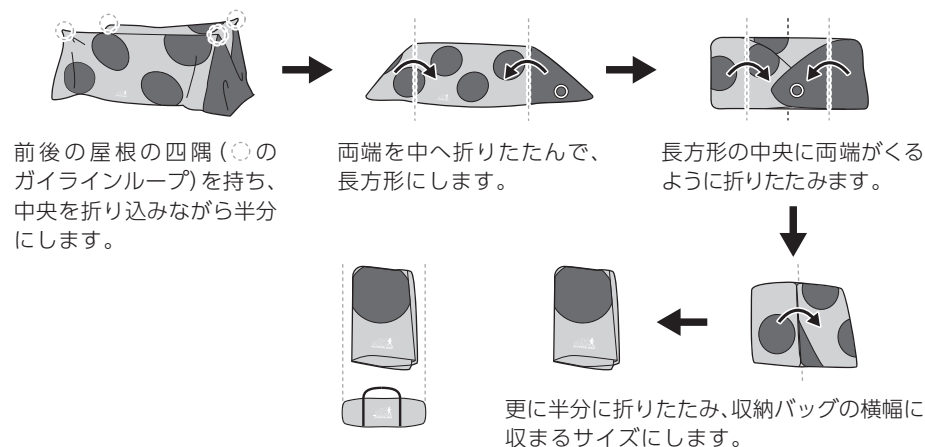
- キャノピーポールを伸ばす際は、各節を完全に差し込んでください。しっかりと差し込まれていないとポールが折れる可能性があります。
- ❗ • キャノピーポールを雨天時に活用する際は、水が溜まりやすくなります。雨水が流れるようキャノピーに傾斜をつけてください。
- 強風の際は、必ずキャノピーを閉じてください。ポールが折れる原因になります。

撤収方法

- ！ テントを濡れたままで収納すると防水効果が著しく損なわれ、カビの発生や色移りの原因になります。ご使用後はフライシート・インナーテントの汚れをよく落とし、十分に乾かしてから収納・保管をしてください。

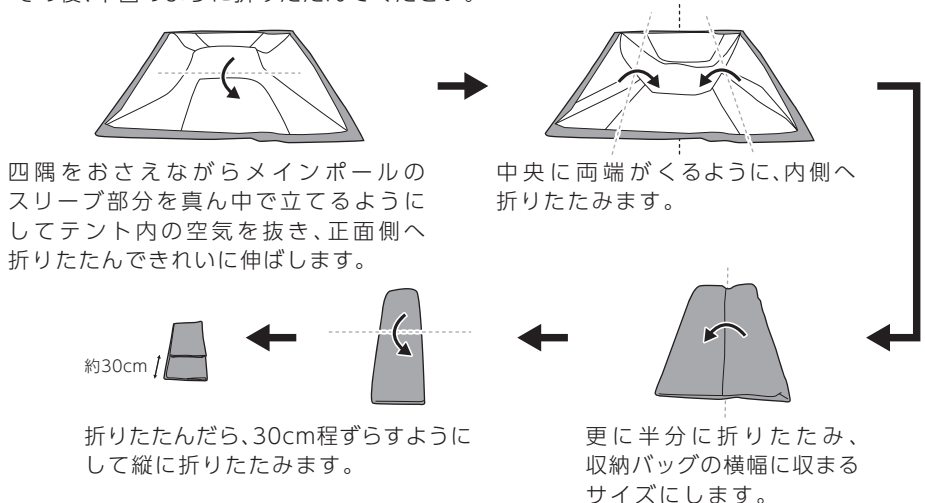
① フライシートの折りたたみ方

全てのロープや内側にある面ファスナーテープなど、フライシートを固定するものを全て外して、インナーテントから取り外します。
その後、下図のように折りたたんでください。



② インナーテントの折りたたみ方

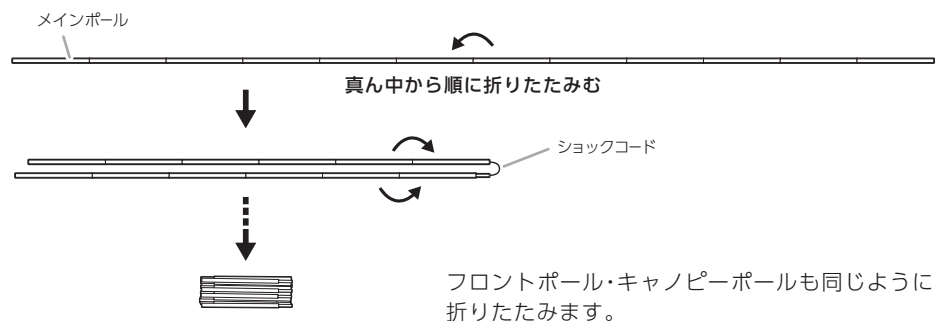
固定するペグ・ポールを外します。空気を逃がすために正面と背面のドアのファスナーをあらかじめ開けてから四隅をきれいに広げて四角形にします。
その後、下図のように折りたたんでください。



③ ポールの折りたたみ方

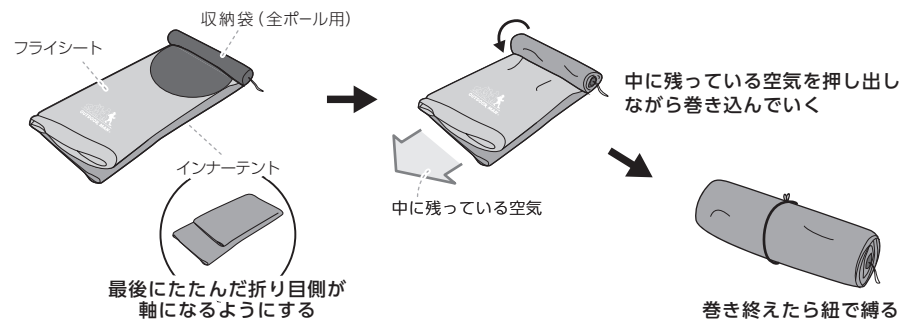
全てのポールを折りたたんで、ポール用収納袋に入れます。

- ！ ポールを折りたたむ際は、真ん中から折りたたむとショックコード全体に均一なテンションがかかって、ショックコードの寿命を延ばすことができます。



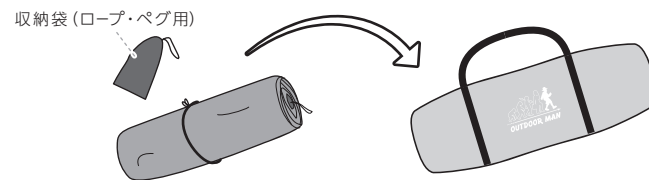
④ 収納前のまとめ方

下に折りたたんだインナーテント、上にフライシートを重ねます。
全てのポールの入った収納袋を巻き込む芯にして、下図のように巻いていきます。



⑤ 収納バッグに収める

ロープ・ペグを専用の収納袋に入れ、まとめたテントとともに収納バッグに入れたら収納完了です。



Q & A ～より快適に使用していただくために～

Q1. テント内に浸水・雨漏りするのですが…

- A. 結露が原因の場合があります。定期的に換気をおこなってください。ベンチレーションを開けておくことで結露が軽減されます。

外気との温度差が大きくなると、防水加工が施されたテントの生地は水が垂れてしまうほど結露する場合があります。

Q2. 縫い目から雨漏りがするのですが…

- A. 市販のシームシーリング剤(目止め液)を塗布してください。

本テントは防水処理を施していますが、構造・生産工程上シームシーリングを施せない部分(縫い目やジッパーの合わせ目など)があります。そういった箇所は雨量によっては浸水する場合があります。

より快適に使用していただくために市販のシームシーリング剤の使用を推奨します。使用を重ねることによるシームシーリングの剥離・劣化による原因の雨漏りの場合もありますので、メンテナンスを定期的におこなってください。

Q3. 撥水が弱くなった気がするのですが…

- A. 市販の撥水スプレーを使用してください。

防水処理を施しているテントは使用を重ねると徐々に機能が低下していきます。

Q4. テントを使用後、保管方法はどのようにすればいいのか…

- A. 使用後はテントの汚れをふき取って、しっかりと乾燥させてから収納してください。保管時は高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。

乾かさず濡れたまま保管すると、カビの発生・腐食・劣化・防水機能の低下の原因になります。また汚れをふき取るときは、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。色落ちや変色の原因になります。

製品仕様

サ イ ズ	使 用 時：約 W3000 × D4800 × H1900 mm
	インナーサイズ：約 W2850 × D2850 × H1800 mm
	収 納 時：約 φ300 × 800 mm
重 量	約 9 kg
定 員	4～5 人
最低耐水压※1	フライシート：1500mm フロア：2000mm
紫外線保護※1	UPF40 (UVカット率97.5%)
セット内容	インナーテント×1 フライシート×1 メインポール(約φ11mm)×2
	フロントポール(約φ12mm)×1 キャノピーポール(約1600mm)×2
	ペグ×20 ロープ×10 収納袋(ペグ・ロープ用) 収納袋(全ポール用) 収納バッグ
材 質	フライシート：63D ポリエステル (PUコーティング)
	フ ロ ア：210D ポリエステル (PUコーティング)
	メインポール：7001アルミニウム合金 フロントポール：FRP キャノピーポール：鉄

※1『国際検査機関SGS』による判定済み

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

※一つ一つ手作りのため、色むらなど個体差が出てしまう場合がございます。

※輸入品の為、輸送中のキズなど個体差がございますので予めご了承ください。

※製品の性質上、製造時本体にスレや凹みが生じてしまう場合がございます。

保証書

保証書

本書は保証期間内に本書記載内容で無料保証をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービスセンターにご依頼ください。

※この保証書は販売店様の日付けの入ったレシートまたは領収書がなければ無効となります。

製品コード	KOTT-002	製品名	テンテン
※お買い上げ日	年 月 日	保証期間	お買い上げ日より：1年間
お 客 様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号		
※販 売 店	住所・店名		
	電話番号		

当製品の保証書にご記入されたお客様の個人情報は、修理・交換後の製品発送のみ使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供することは一切ございません。

販売店さまへ ※印欄は必ず記入(もしくは押印)してください。

保証規定

- 保証期間内に取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料保証いたします。弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内に故障した場合には、製品と本書をご持参・ご提示の上、弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内でも次の場合には保証対象外になります。
 - 弊社「お客様サービスセンター」以外による分解・修理及び改造をおこなった場合
 - お客様の過失・不注意(使用上の誤り、製品をぶつけたり落下等による強い衝撃を与えるなど)による故障及び損傷
 - 取扱説明書に記載されている消耗部品が自然摩耗または自然劣化していることに起因して故障が発生した場合
 - 火災・地震・その他の天災事変による故障及び損傷
 - 本書の掲示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 他人へ譲渡した場合
- レンタルなどによる貸し出し、オークション等による転売・中古販売、及び譲渡によって発生した故障・損傷・劣化・損害・事故などに対して一切の責任を負いかねます。ご了承ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効となります。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

発売元 ラyson株式会社

〒577-0034 大阪府東大阪市御厨南2-1-33

お客様サービスセンター

TEL 06-6789-1199

〔月～金(祝日除く)10時～16時〕